

# 1 焦点を当てる

## ③ 繰り返している行為に焦点を当てる

子どもたちの行為には、遊びには一見無関係だったり、目的とは違ったりする言動に見え、保育者には子どもの言動の意味を読み取れない場合があります。


以下の事例は、楽しんでいた赤土での遊びとは違う様子で、子どもが**繰り返している行為に焦点を当て**ています。**焦点を当てた子どもの行為**、写真、保育者の読み取りを細やかに示すことで、**言葉も動きも限られている子どもの姿を、保育者は丁寧に捉えて**保育を進めている様子が分かります。「科学する心」が育まれる子どもたちは、興味の対象と向き合い理解を深めるとともに、必要な技術を獲得する体験もしています。

### 「赤土 出てくるかな？」 4歳児

### 福岡市立金武幼稚園

<遊びのきっかけ>

A児ら3人は、砂場横に新しくできた赤土の山に興味をもち、ペットボトルの中に手でせっせと赤土を入れていた。ペットボトルの中の赤土で満杯になると、今度は赤土を出そうとする。

心の動き	子どもの姿	保育者の読み取り、願い	環境構成・援助
<p><b>興味・関心</b> <b>疑問</b> 「赤土出てくるかな」</p>	<p>ペットボトルに水を入れる。</p> 	<p>ペットボトルの中に入れた砂を出した時のやり方を思い出してやっている。けれども、赤土は粘り気があるから上手くいくかな？</p>	<p>水をくみやすいように、浅くて大きな四角形の容器に水を溜めておく。(試行錯誤)</p>
<p><b>試す</b> 「なかなか出てこない」</p>	<p>ペットボトルを<b>少し斜めにしたり上下に振ったりする。</b></p> 	<p>やはり、簡単には赤土は出ない。ペットボトルから出す方法について、砂を出した経験を基に試行錯誤している。</p>	<p>繰り返し試している様子を認め、赤土をペットボトルから出せるように励ます。(興味・関心・意欲)</p>
<p><b>「水と一緒に出てくる」</b></p>	<p>保育者の方法を使い、赤土を出す。 ペットボトルの<b>下の方に、丸い赤土の塊ができたことに気付く、驚く。</b></p> 	<p>砂と赤土の違いを強く感じている。保育者が共に驚くことによって、赤土の性質に興味をもち、赤土との関わりを楽しみ、関わっている素材への興味を深めていって欲しい。</p>	<p>なかなか上手くいかない様子なので、意欲がそがれないように、保育者も水を入れた後、同じ場でペットボトルをゆすって赤土を水に溶かす方法をやってみる。(興味・関心・意欲)</p>
<p><b>気付く</b> 「赤土の塊が小さくなってきた」</p>	<p><b>中の赤土の様子を見ながら繰り返す。</b></p> 	<p>砂の時よりも粘り強くしないと、赤土はなくならないだろう。しかし、赤土は砂よりも見え易いので、減っていく様子が分かりやすく、試すことも楽しそうだ。</p>	<p>ペットボトルの中に赤土の丸い塊ができることは、保育者も初めての経験で、A児と驚きを共感する。見守る。(興味・関心・意欲)</p>
<p><b>試す</b> 「どうしたら早く水が出るかな」</p>	<p><b>振り方を変えて左右に振り、水を出そうとしている。</b> 粘り強く試したことによって、ペットボトルから赤土を全部出すことに成功した。</p>	<p>ペットボトルの中で丸くなった赤土の塊が小さくなっていくことで、あと少しで全部出せるという見通しをもつことができているようだ。</p>	<p>ペットボトルの振り方を変えて試そうとしている姿を認める。 (興味・関心・意欲)</p>
<p><b>気付く</b> <b>伝える</b> 「こうしたらいいよ」</p>	<p><b>赤土の出し方を手取り足取り友達に教える。</b></p> 	<p>今度は左右に振って、どうしたら早く水を出そうか試しているようだ。 自分ができた喜びが、やり方を友達に教えたいという気持ちに結び付いた。</p>	<p>友達に実際にやって見せながら教えている姿を認める。(興味・関心・意欲)</p>

(関連事例3歳児P.34)